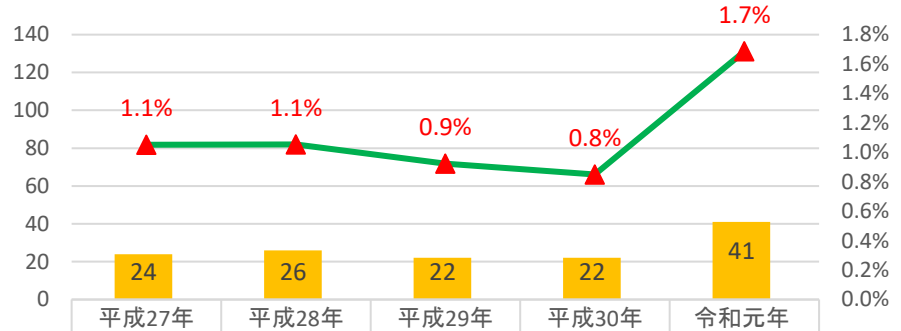


25.外国人労働者災害の発生状況

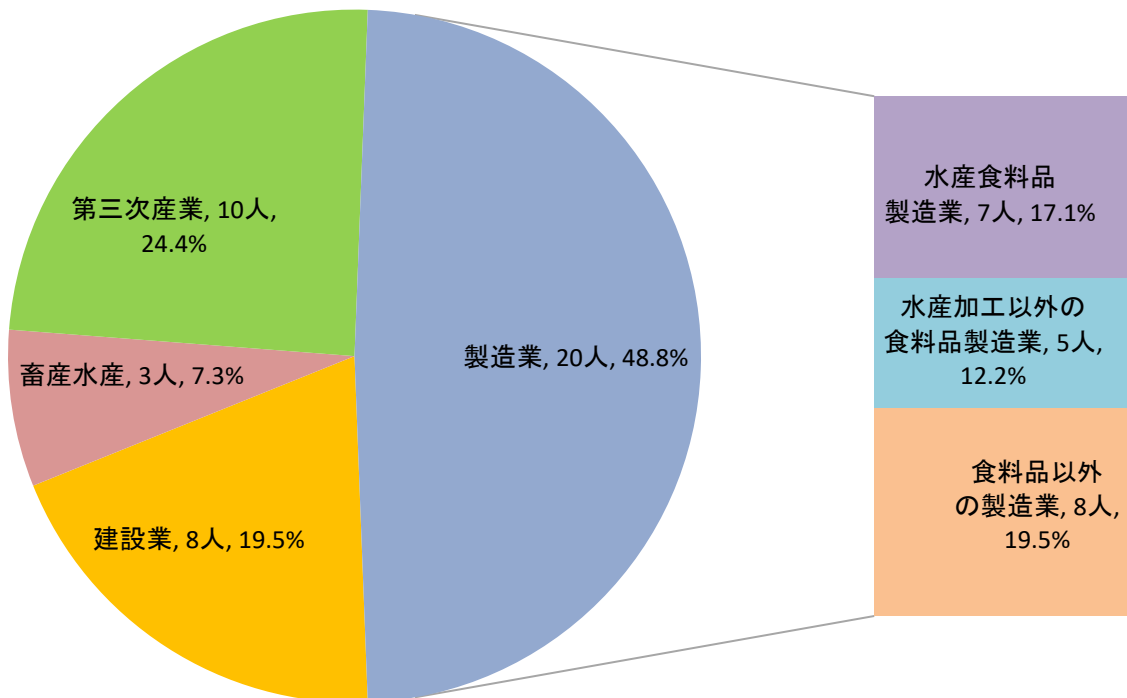
(外国人労働者災害:41人)

年別推移【外国人労働者死傷者】

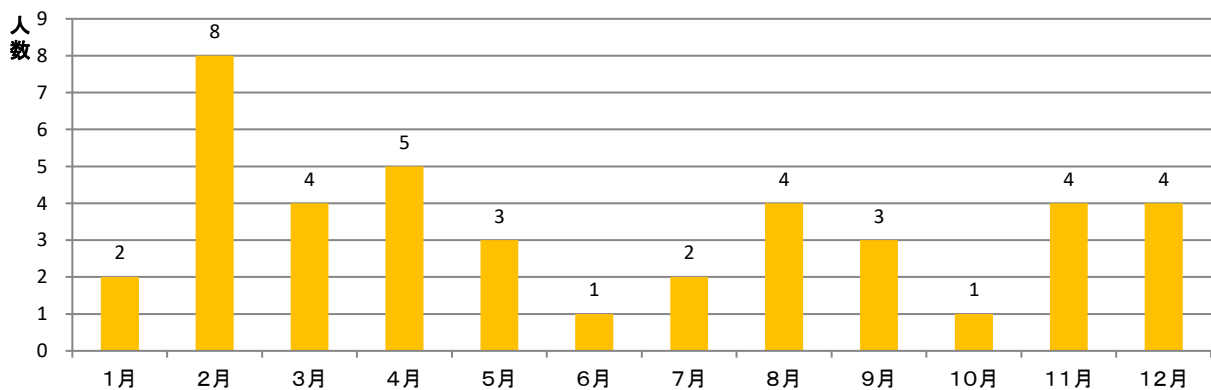


件数	24	26	22	22	41
災害総数	2,282	2,467	2,385	2,589	2,432
災害総数に占める割合	1.1%	1.1%	0.9%	0.8%	1.7%
外国人労働者数(各年10月末時点)	6,355	7,804	9,337	11,001	13,587

業種別死傷者数【外国人労働者】41人

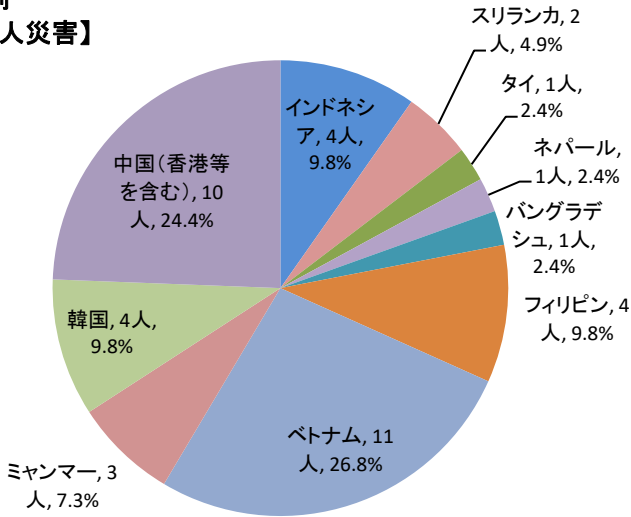


月別労働災害発生状況【外国人災害】41人

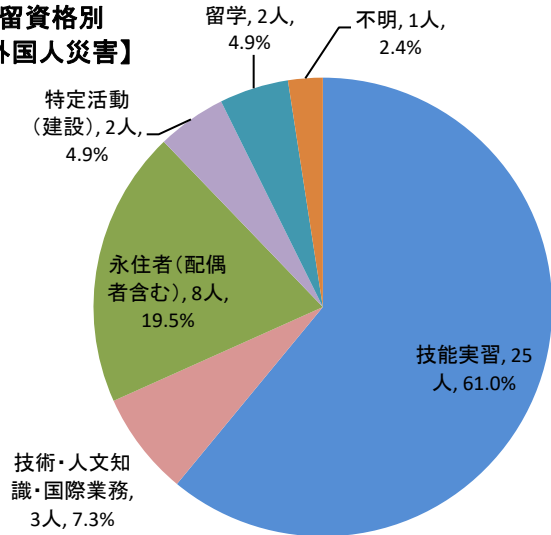


(外国人労働者災害: 41人)

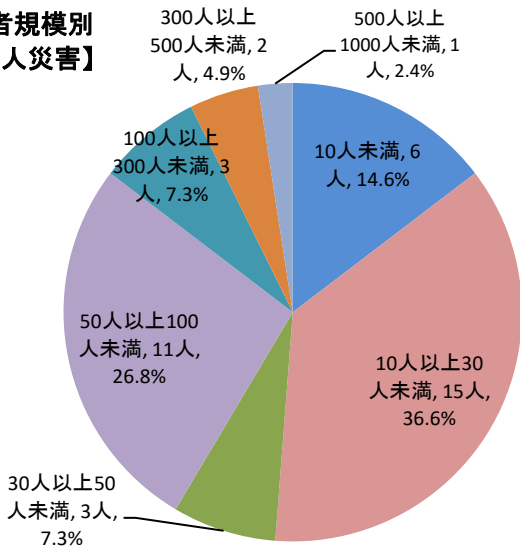
**国籍別
【外国人災害】**



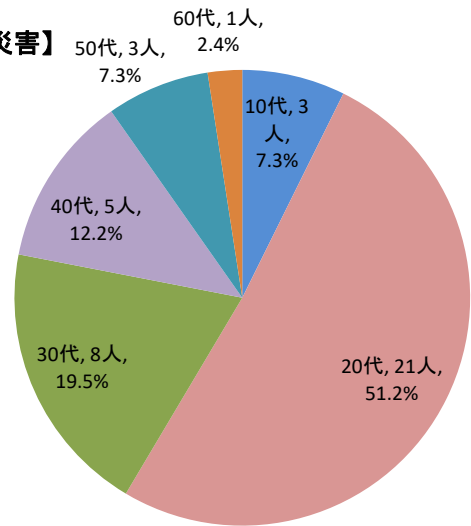
**在留資格別
【外国人災害】**



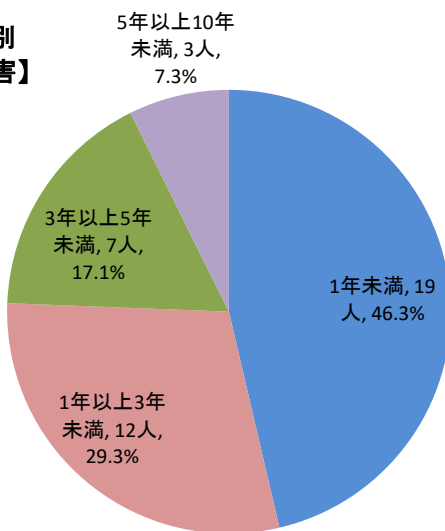
**労働者規模別
【外国人災害】**



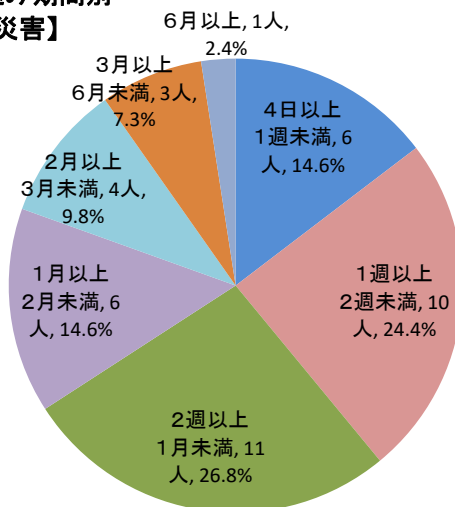
**年代別
【外国人災害】**

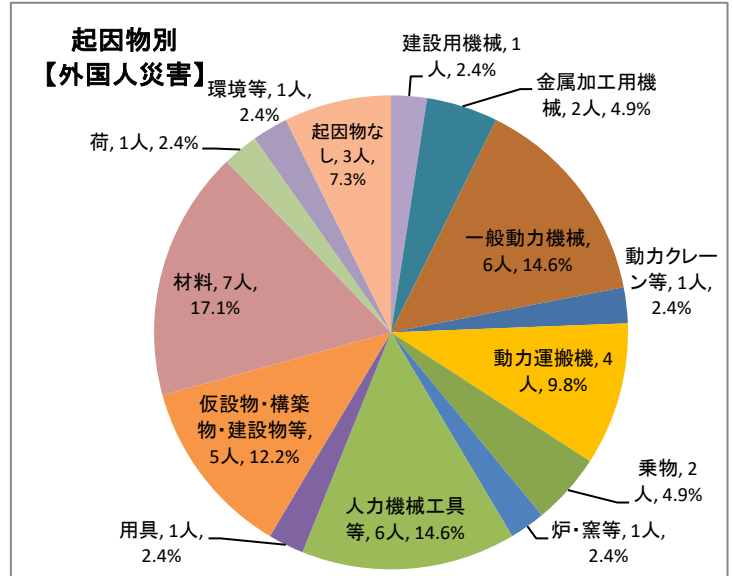
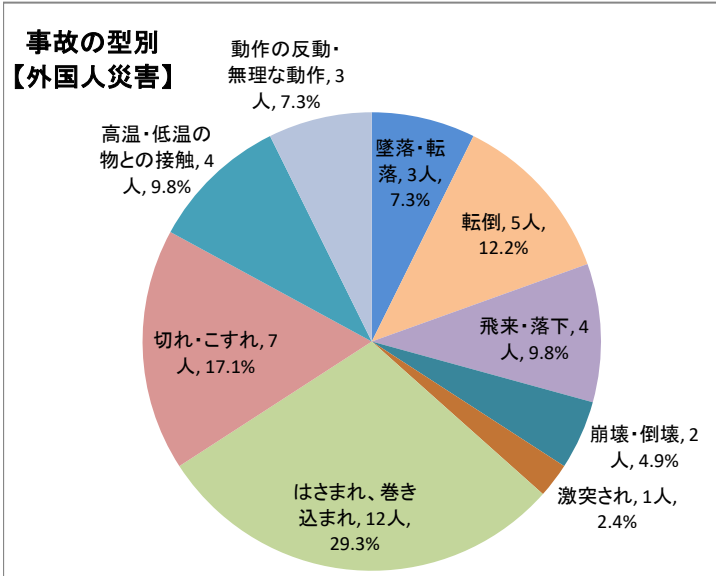


**経験年数別
【外国人災害】**



**休業見込み期間別
【外国人災害】**





経験期間	事故型									計
	墜落、転落	転倒	飛来、落下	崩壊、倒壊	激突され	はさまれ、巻き込まれ	切れ、こすれ	高温・低温物との接触	動作の反動、無理な動作	
1年未満	1		2	2		5	6	2	1	19
1年以上3年未満	2	2	1		1	2	1	2	1	12
3年以上5年未満		1	1			4			1	7
5年以上10年未満		2				1				3
計	3	5	4	2	1	12	7	4	3	41

1. 発生件数は、前年比で19人(86.3%)増加している。、全労働災害に占める割合も1.7%と前年よりも0.9%増加している。
2. 業種別にみると、「製造業」が48.8%を占めており、また、29.3%は「食料品製造業」である。
3. 在留資格別でみると、「技能実習」が61.0%となっている。
4. 経験年数別では、「1年未満」が46.3%を占めている。
5. 事故の型別では、「はさまれ、巻き込まれ」が29.3%と最も多く、次いで「切れ・こすれ」が17.1%、「転倒」12.2%の順となっている。
6. 経験年数「1年未満」の「はさまれ、巻き込まれ」、「切れ・こすれ」による災害が計11人と多くなっている。